

P R E S S R E L E A S E

2026 年 7 月 10 日

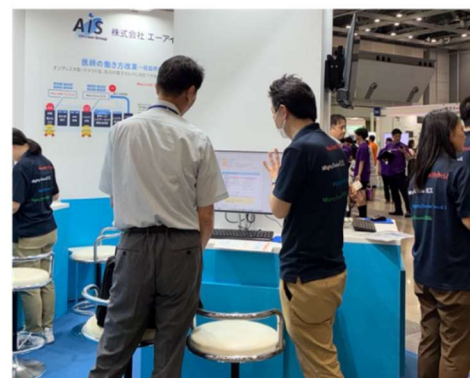
各 位

会 社 名 株式会社Ubicom ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 青木正之
(コード番号：3937 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役コーポレート本部長 北岡明哲
(TEL. 03-5803-7339)

「国際モダンホスピタルショー 2026」に出展
クラウド型レセプト点検ソフトの新製品「MightyChecker® Cloud X」をはじめ、
AIを活用した医療機関向け経営支援ソリューションを展示

株式会社 Ubicom ホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：青木 正之、証券コード：3937、以下「当社」）のメディカル事業を担う連結子会社である、株式会社エーアイエス（本社：東京都千代田区、代表取締役会長兼社長：青木 正之）は、2026年7月8日（水）～10日（金）にかけて東京ビッグサイトで開催された「国際モダンホスピタルショー 2026」に出展いたしました。

同展示会では、2026年4月より提供を開始した、診療所及び100床未満の小規模病院向けクラウド型レセプト点検ソフト「MightyChecker® Cloud X」をはじめ、AI推測エンジンを搭載した電子カルテ連携システム「Mighty QUBE® Hybrid」、レセプト点検×AIを実現した「MightyChecker® EX」など、医療機関の経営改善と業務効率化を支援するソリューションとして提供している各製品のデモンストレーションを実施しました。



近年、診療報酬改定後も医療機関の経営環境は厳しさを増しています。日本病院会が公表した「2024年度診療報酬改定後の病院経営状況」によると、医業利益が赤字の病院は69.0%、経常利益が赤字の病院は61.2%

に達しており、多くの医療機関様が経営改善と業務効率化という課題に直面しています。こうした背景のもと、医療機関様の経営改善、医療安全と医療の質の向上に資する当社の「Mighty」シリーズには、多くの来場者から高い関心をいただきました。

今後も、約23,000のユーザー医療機関様の声を反映した、より良い製品・サービスの提供に努め、医療現場の業務効率化と経営基盤の強化に貢献するソリューションの提供に努めるとともに、AI×サブスクリプションモデルによる高収益基盤のさらなる拡大を推進してまいります。

【展示ソリューション】



『MightyChecker® Cloud X』は、2026年4月に提供を開始した、診療所及び100床未満の小規模病院向けの次世代クラウド型レセプト点検ソフトです。クラウドならではの自動アップデート機能や二要素認証による高いセキュリティに加え、経営分析機能を標準搭載しています。高精度なレセプト点検により、査定・返戻の削減や指導料・医学管理料などの算定漏れ防止を支援し、医療機関のDX推進と経営改善に貢献します。

『Mighty QUBE® Hybrid』は、電子カルテとリアルタイムで連携し、医師のオーダー入力時にAIが即時に誤りや病名漏れを検知するハイエンドモデルで、医師の事務作業を大幅に削減し、過重労働対策にも直結します。例えば300床の中規模病院における試算では、年間約6,200万円の増収効果をもたらし、投資対効果は1,154%^{※1}を実現。医師の働き方改革関連法への対応を求められる病院経営者の皆様から高く評価されています。

『MightyChecker® EX』は、医事会計システムと連携し、AIがレセプトの誤請求や請求漏れを自動で点検するソリューションです。複雑な診療報酬制度に対応し、医事課の業務効率化と収益改善に寄与します。同じく300床規模の病院においては、年間約910万円の増収効果、投資対効果は411%^{※2}が見込まれています。これらの定量的なメリットは、医療機関にとっての導入判断における大きな後押しとなっております。

※1 『Mighty QUBE® Hybrid』 使用料 例5,340,000円/年（2024年1月価格改定）

※2 『MightyChecker® EX』 使用料例2,220,000円/年

<当社 株式会社 Ubicom ホールディングス、子会社 株式会社エーアイエスについて>

当社は、時代の先を見据え、社会課題の解決に資する IT ソリューションを創造する、唯一無二のビジネスイノベーションカンパニーであり続けることを企業理念に掲げ、メディカル事業と AI Technology 戦略事業という成長性の高い事業を展開しています。

メディカル事業は、AI×サブスクモデルを活用した病院・診療所向け経営支援 IT ソリューションのパイオニアとして、医師の働き方改革を支援するレセプト点検システム「MightyChecker® EX」や、電子カルテ連携システム「Mighty QUBE® Hybrid」などを提供しています。40 年以上にわたり構築した約 23,000 の医療機関の顧客基盤・医療データベース・知財を活用し、新たなプラットフォームビジネスを拡大。生命保険・損害保険会社向け「保険ナレッジプラットフォーム」の提供も開始いたしました。また、2025 年～2030 年にかけてメディカル事業の収益性最大化に向けた M&A 戦略を推進してまいります。これにより、累計 8～10 社（1 社あたり売上規模数億円～10 億円程度）の M&A を目指し、グループ直販モデルへの転換を図ります。

AI Technology 戦略事業においては、フィリピンを中心としたグローバル開発体制のもと、英語・日本語が堪能な IT 人材の採用・育成を行い、医療、金融・公共など幅広い産業分野に対して IT ソリューションを提供しています。さらに、従来の人月型開発モデルから AI 駆動開発モデルへの転換を進めており、フィリピン拠点における AI ネイティブエンジニアの育成や AI 活用能力の高度化と開発工程への AI 活用を推進することで、高付加価値・高利益型のビジネスモデルチェンジを中長期的な戦略として推進しております。また、Go Global 方針のもと、AI を活用した高度な開発体制を強みに、グローバル企業との案件拡大を進めてまいります。

以上